

リアルタイムの道路情報を発信しています

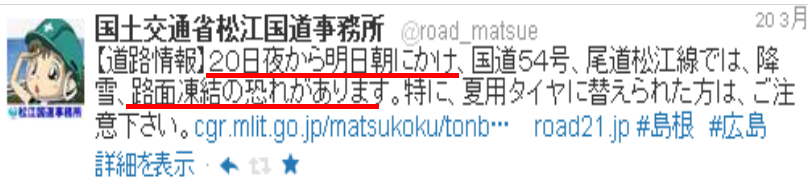
・松江国道事務所管内の災害時や道路異常の緊急情報を発信する他、道路整備に関する情報等を発信しています。

【松江国道事務所管内 位置図】



【経緯】

- ・平成22年末の松国管内雪害対応において、情報発信時の即時性確保の必要性。
- ・島根県において新たな道路情報提供ツールとしてTwitter活用が平成23年開始。
- ・自治体と連携した道路ユーザーへの情報提供としてtwitter活用を検討。
- ・平成23年冬期よりTwitterによる冬期道路情報等の提供について、試行運用を開始。



▲ツイート例(路面凍結注意喚起)

【利用促進に向けた取り組み】

- ・記者発表や取組の紹介パンフレットなどの広報活動により、利用者(フォロワー)の増加を図ります。
- ・平成24年4月で約400名だったフォロワーが、平成25年7月では約900名まで増加。着々とフォロワーが定着しています。

●Twitterによる情報配信内容

- ・道路交通情報
- ・道路規制、災害情報
- ・冬期道路情報 等

●Twitterの閲覧方法

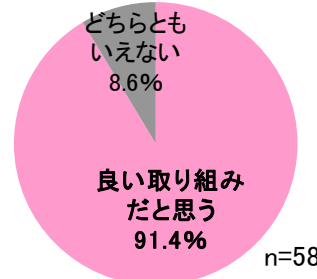
- ・下記URLを直接入力
https://mobile.twitter.com/road_matsue
- ・右のQRコードを携帯電話等で認識
- ・松江国道HP (<http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>)の「お知らせ」を選択(クリック)

▲取組を紹介するパンフレット

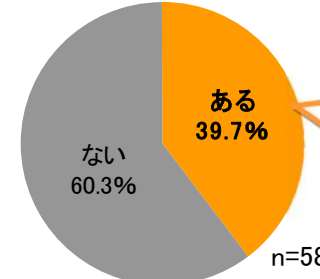
【フォロワーによる評価と効果事例の把握】

- ・フォロワーに対し、Twitter利用における効果や要望などについて、アンケートを実施。(平成24年10月17日～30日 松江国道Webアンケート)
- ・約9割の方が、Twitterによる情報提供の取り組みを評価。
- ・約4割の方が、実際に効果があったと回答。効果事例としては、通行止めの事前察知による迂回や、リアルタイムな情報が役立ったなどが挙げられている。
- ・ただし、利用改善の声も挙がっており、情報提供内容や方法については、今後も引き続き検討が必要。

取組に対する評価



ツイッター利用による効果



～具体的な効果事例～

- ◆交通事故による通行止めの箇所を知って、迂回して早く帰れたことがある。
- ◆規制が事前にわかり、ルートを変更することができた。
- ◆天候や事故のための交通規制がリアルタイムでわかったこと。

グラフ出典: 松江国道Webアンケートより